



まずは、地区大会 part1 のご協力に心より感謝申し上げます。

あれから1か月半。後始末も少しずつ終え、あっという間にガバナー通信の12月1日です。地区大会終了後、地区大会報告書を2週間以内に提出。国際大会へのバイローズに関する審議事項提案がある場合は1か月以内に提出。(今回指名委員会からの提案がこれに該当します。) その上、従来のガバナーレポートの提出締切日がこれらと重なってしまったりします。なかなかゾンタはゆっくりと休ませてはくれません。しかも全て英語(当たり前ですが)。歴代ガバナーのご尽力を今頃知る訳であります。

さて12月。「師が走る」ばかりでなく、やっとコロナが解除されつつあり、「ゾンシャンも走る」。ぽつぽつチャリティイベントが始まりかけました。やっと会える!?!それにしてもバザー開催の3週間後にクリスマスパーティーを行うという東京Iの猛威に脱帽。流石、日本の夜明け、東京I。我々もぜひ頑張らしましょう!!(と書きながらオミクロン株とやりに密かに怯えている。私は兎角小心者である。)

●さて、この2か月のメインは地区大会 part1 を10月15日に琵琶湖ホテルで開催したことです。対面102名、オンライン参加177名で、とりあえず地区大会で最低しなければならないことのみ済ませました。後は6/11の地区大会 part2 開催が実現するよう祈るばかりです。

●委員長便りをお読みください。この2か月が分かって頂けるかと思います。また現在、国連委員長の記載通り、「Zonta Says No!」キャンペーンの真っ最中です。今回、突出したユニークなアピールでこの行事を取り扱っているクラブを知り、ここに紹介しようと全クラブにお尋ねしたところ、あまりにたくさんの報告が寄せられたので、写真と共に特集を組んで近々皆様にお届けすることに致しました。今しばらくお待ち下さい。

●10月30日、北九州ゾンタクラブ創立30周年記念がリーガロイヤルホテルで式典のみ厳かにとり行われました。知事、市長のご臨席の元、26地区からも沢山のゾンシャンがお祝いに駆け付けました。

### ●ヒトデプロジェクトについて

今一度確認させて下さい。

海岸に打ち上げられている可哀そうなヒトデ(Starfish)を海に返してやる少女がいた。それを見ていた蟹が言う。『こんなにたくさんのヒトデが死にそうなのに、1匹を投げて一体何になるのだ。』少女が言う。『でも、海に投げたヒトデは助かったでしょう?』これがヒトデプロジェクトの根本です。

国際ゾンタは二年ごとにプロジェクトを掲げて、ゾンシャンに善意の寄付を求めてその実現を目指しています。皆様のクラブも奉仕先を見つけて支援をなさっていると思います。ヒトデプロジェクトは地区の奉仕プロジ

ェクトです。26地区(=日本)が一つでも多くのヒトデに温かい心と手を差し伸べようとするものであります。クラブや個人はヒトデ(施設)と26地区を結び付ける働きをして下さる紹介者であって、クラブからそれらを施設に差し出しているものではありません。クラブ(個人)は結婚の仲人であり、ヒトデ(施設)と26地区が結ばれるのです。(例えが変ですかね?) 仮に、これらをクラブの支援先と同じところに手渡す時は、自クラブだけでなく「日本のゾンタも応援している、日本ゾンタからだ」と言葉を添えて下さい。

今季は、①『民間シェルター』 ②『民間子ども食堂』 ③『(その他)個人の干からびたヒトデ』の紹介をお願いしています。①②③共クラブからでも会員個人からでも 26 地区にお知らせ下さい。③は拡大解釈が出来るかもしれません。近くにどうしても手を差し伸べたくなる子どもや女性がシェルターにも食堂にも行けずにいるかもしれません。身近な少人数の子供にも日本ゾンタの愛を届けて下さればと思います。26 地区の今期のプロジェクトはあくまで「民間」にこだわらせてもらいます。

一人でも多くのヒトデを救うことが目的です。しかしそれと共に、国際ゾンタ26地区(日本)のアピールも兼ねています。ゾンタの無い県にヒトデプロジェクトを伸ばしていきたいものです。ご協力(紹介)を宜しくお願い致します。

奉仕とはほのぼのとしたもの、奉仕は精神的な心のゆとりの善意であり、ヒトデプロジェクトも 26 地区で無理なく出来得る程度のことをさせて頂くに過ぎません。目標額無しで集まった範囲の善意を少しでも有効な形に変えてお届けします。あなたの善意をお待ち致します。(第二次寄付絶賛受付中です。)

●ヒトデプロジェクトの第二弾の申込を11月30日で締切ました。お申し込みを忘れておられるクラブはございませんか? 締め切りを一週間延長しますので今一度ヒトデを捜して下さい。

コロナに色がついていたら分かりやすいのにな、と思います。金子みずぶさんが「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ」と言っておられたことを、今更ながら噛みしめております。ゾンシャンの皆様にはどうか十分ご留意されて年末を乗り切ってくださいますように。今年も一年間お世話になり、本当に有難うございました。

2020-2022 26 地区ガバナー 岡澤則子



## 国際の窓

コロナに振り回されて2度目の年末を迎えようとしています。

理事たちは引き続き“白書”を書きあげるための準備に追われています。会議や分科会は相変わらず時間を問わず開かれます。欧米が冬時間に変わり、日本時間ではすべての会議は1時間遅く開かれるようになり、早朝は楽になりましたが、夜が大変になりました。

日本にいながらこれだけ時差に振り回される生活はしたことがありませんでしたが、随分慣れました。時差も然ることながら、今期の理事たちの仕事量の多さと深さは前代未聞らしく、事務局長から「皆よく頑張るわね！」という言葉が聞かれます。膨大な資料を読み、書くことにも慣れました。欧米の考え方の違いを理解しながら何とかバランスよく判断をするように心がけてはいますが、アジア人の私は青息吐息だと感じることもあることは否めません。

現在「地区」の見直しを行うように準備を進めています。会員数が激減し、地区として存在不能であると判断されるところがいくつかあります。奨学金に関しては、地区の大小にかかわらずどの地区にも「地区賞」が与えられるわけで、「平等ではない」という声も上がっています。「地区」見直しはかなり前から進めようとしてきたようですが、今期きちんと提案できるようになれば良いと思います。

来期の Ute 国際会長は、“Zonta Spirit” を強く打ち出されようとしています。皆さまは “Zonta Spirit” という言葉を聞かれた時どのようなイメージを持たれるでしょうか？

それぞれお考えいただければと思いますが、基本は “Zonta Love” です。この素晴らしい団体に所属し、その素晴らしい団体が掲げる壮大な目標に向かって一緒に努力する。お互いがお互いを大切にし、行動する。もう一度この素晴らしい愛に満ちた組織の原点に立ち返り、お互いを大切にすることを思い起こしましょう！ということです。私はこのことを心の底から嬉しいと思い、大歓迎しています。

102 歳になった国際ゾンタが、世界中の女性と少女の幸せのためにやらなければならないことは山積みされています。26 地区では「ひとでプロジェクト」が奉仕プロジェクトとして継続されていくことになりました。国際ゾンタのおかげで一人でも多くの女性や少女が幸せになれるよう、一緒に頑張りましょう！

国際ゾンタおよびゾンタ女性財団理事 木下彰子

## 委員長便り

お陰様で地区大会で「エマ L コンロン 地区賞」が承認されました。

この賞がZ&GZクラブにとって これまでの活動の継続、新たなボランティア活動に取り組むきっかけになる等なお一層の励みになり、会員のモチベーションの維持、向上につながることを願っております。

Z&GZクラブ委員長 真鍋 芳美

10月15日の地区大会におきましては下記の通りになりましたことをご報告いたします。

当日のご寄付は、\$ 31,600

10月末まで受け付けておりましたご寄付は、\$ 6,690

総合計金額、\$ 38,290となりました。 ご協力いただきありがとうございました。

又、11月に行われておりました Every Member Every November(EMEN)のご寄付も各クラブそして個人の方にご寄付いただき重ねて御礼申し上げます。

財団大使 松崎恭子

今年度のアメリカ・イアハート奨学金の募集は、11月15日に終了しました。

各大学の奨学金課だけではなく、大学の宇宙工学研究科などに直接資料をお送りしたり、JAXAの学生担当者などにもご案内を出してみましたが、力不足で、残念ながら応募はありませんでした。

1月11日は、アメリカ・イアハートデーです。

コロナ禍で、たくさんの人数での講演会などは難しいかと思いますが、少しでもアメリカ・イアハートを周知していただきたく、各クラブでの楽しいイベントの企画をどうぞよろしくお願いいたします。

アメリカ・イアハート奨学金委員長 一澤恵美

WIT 奨学金は、動きがありません。

コロナも収まり、平常な生活が戻ってきました。

WIT 奨学金申請者が見つかりますように祈っています。

WIT 奨学金委員長 内藤恵子

「Zonta Says No!」キャンペーンの真っ只中ですね！皆さんの地域でも、全ての人々に「女性に対する暴力撤廃運動」に参加するよう呼びかけ、暴力のない明るい未来を象徴するオレンジ色を使って国際ゾンタの行動が目に見えるようにしましょう！

女性に対する暴力撤廃の国際デー(11月25日)に寄せる アントニオ・グテーレス国連事務総長ビデオメッセージ

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/messages\\_speeches/sg/43107/](https://www.unic.or.jp/news_press/messages_speeches/sg/43107/)

国連委員長 和田津美智代

Zonta International PR&C Committee から 2021 年 11 月 15 日にプライスの発表がありました。100以上の作品提出のうち video and text/photo それぞれの部門から以下のトップ 4 作品が選ばれました。

Video: ドイツ、オーストラリア、フィリピン、アメリカ

Text/Photo: オーストラリア、台湾、ドイツ、アメリカ

詳細は以下の通りです。

Video:

Zonta Club of Aschaffenburg Area, Germany, Zonta Club of Gawler Inc, Australia, Zonta Club of Makati Ayala, Philippines, Zonta Club of Sanibel-Captiva, United States

Text/Photo:

Zonta Club of Brisbane Breakfast Inc, Australia, Zonta Club of Chang Hua, Taiwan, Zonta Club of Frankfurt am Main, Germany, Zonta Club of Myrtle Beach, United States

[ゾンタ国際エレベータースピーチピッチファイナリストが発表 \(zonta.org\)](https://www.zonta.org) ←こちらをご覧ください

なお、26 地区から応募いただいたのは、松本・奈良・東京Ⅱ・東京Ⅲ・群馬・盛岡・京都Ⅱの 7 クラブです。残念ながら、日本からの作品は入れませんでした。多くの応募に対し、感謝の意が書かれていました。Elevator Speech Pitch に応募していただきました全国の会員の方々に心より御礼を申し上げます。ご協力をありがとうございました。

広報委員長 川村隆枝

11 月 18 日(木)に「2021 年度 YWPA 26 地区賞の表彰式」が「神戸ゾンタクラブ(神戸ポートピアホテル)」にて行われました。リン・インシさん(カナディアンアカデミー 2 年生)は現在、学生として求められている核兵器廃絶や気候正義の実現のための政策を立案し、喫緊の地球的課題に対する国際的な取り組みに直接貢献したい。将来は 環境弁護士や研究者になるのが目標だそうです。素晴らしいご両親(ご同席)の教育と愛情に育まれ、彼女の地球規模の問題を直視する眼力と情熱は「凄い！」の一言。私達ゾンシャンも大いに触発されたひと時でした。神戸ゾンタクラブの皆様の心のこもったおもてなし、ありがとうございました。



YWPA 奨学金委員長納富輝子

国際ゾンタは、近年の会員減少を重要課題と捉えています。

コロナ禍にあってもクラブをいくつも発足させているアジア地域に注目し、課題解決のヒントを得ようと、オンラインミーティングの招集がかかりました。26 地区からは、SOM クラブだけでなく地区も深く関わった事例として東京 Grace(認証伝達式は 2022 年 4 月に予定)をご紹介します予定です。

副ガバナー/会員委員長 浅野万里子

コロナ禍の苦境からオンラインでのやり取りが急速に加速し、皆様との距離感が近くなり、ゾンタの事を学べば学ぶほど如何に自分がいたらないか実感。周りを見渡すとさらに沢山の苦境を抱えたヒトデが溢れる。～してあげるのではなく、協力者となり海に返して学び合うことを見つけたのはオンラインのおかげです。

WEB マスター 辻野紀子

ゾンタのリーダーシップとは？考えること、感じることを求める存在であって、ゾンタのゴールを伝えはするが、新しい風に向かい、失敗を恐れず、勇気を持って前に歩むよう推してゆくのか・・・と若者の実体験 Hear Her Story を聞きながら思った夜でした。

リーダーシップ開発委員長 水野幸子

### I) 国際ゾンタ役員・理事への 26 地区支援基金

(詳細はガバナー通信第 3 号をご覧ください)

★支援金★ 283 口 566,000 円  
(2020.10.28～2021.11.30 現在)

【口座】三菱 UFJ 銀行 京都支店 普通 3844664  
国際ゾンタ役員・理事への 26 地区支援基金 代表 岡澤則子

.....  
1 口 2,000 円です。複数者でお振込みの時は、内訳を  
地区書記 後藤までお知らせください。  
d26secretary@zonta-d26.jp

### II) 26地区ヒトデプロジェクトへの寄付

第二次

★寄付金★ 853,000 円 (12/1 現在)  
(2021.6.1～) クラブ寄付: 500,000 円  
個人 寄付: 353,000 円

★累計額 3,169,360 円(2021.3.15～)  
但し、冊子・運営の書・名簿等の追加収益 146,000 円も合算

【口座】八十二銀行 本店営業部 普通 1252683  
国際ゾンタ 26 地区会計 笠原芳子

.....  
口座不問です。地区書記後藤までお名前・金額をお知らせの上、  
お振込み下さい。 d26secretary@zonta-d26.jp

☆星を見るのが好きだ。夜空を見て考えるのが何より楽しい。

☆最近、ビートたけし(詩)玉置浩二(曲)の『嘲笑』に結構はまっている。このキツイ個性の二人の何処から溢れ出たのかと思われるこの優しい歌は、「百年前の人、千年前の人、一万年前の人、百万年前の人 いろんな人が見た星とぼくらが今見る星とほとんど変わらない それが好き。」と続く。

☆かけがえのない人と別れた時、悲しくて空を見上げた。小学生の子供 2 人を友達の親に任せて夜の会合に出かけた後、迎えに行く家の場所が分からなくて 3 時間途方に暮れたあの日も空を見上げていた。とんでもない事件に巻き込まれた一昨年も、絶望と共に空を見上げた。

☆中島みゆきは「人は昔々鳥だったのかもしれないね。こんなにも空が恋しい」というが、私は「自分は昔かぐや姫ではなかったのか？」と思う。最近、地上のことなどどうでもよくなって恋しい月に還りたくて仕方がない。(アブナイ、アブナイ)

☆星を見るのが好きだ。夜空を見て考えるのが何より楽しい。そして今と昔で変わらぬ星が好き。

